



# まちなか防災アクション

株式会社武揚堂

宇佐美萌々香、内村祐哉 (東京都)



## 工夫点

都市部は人が密集するにもかかわらず、大雨による浸水や直下型地震などの危険にさらされています。一方で、自治体が発行するハザードマップは平面的に情報が記載されていますが、高層ビル・地下街といった「タテ構造」への対応には限りがあります。こうしたなかで、タテ構造は支援を必要とする方にとっては避難するにも難しさがあります。そこで、都市部の災害時にとるべき初動対応を、仮想の街をモデルに

縦に開く折り加工で視覚的に表現しました。全体的に左側を「大雨」、右側を「地震」とし、折りを開くごとに「水害、地震のリスク」、「水害発生前、地震発生時の様子」、「発生後の対応」と順に理解できるよう工夫しました。イラストをメインに据えて、やさしい言葉で説明を載せました。発災前後でイラストも変化し、どういったところにリスクが隠れているかわかるようにしました。

## 講評

4つの現象を地下と地上、大雨・浸水、大地震に分けて位置関係を使って表現している点がわかりやすいです。細かく情報が記載されてい

ますが、色も2色でシンプルに表現され、関係性がわかりやすく理解しやすい工夫がされている点を高く評価しました。